

生きていく。この世界で——

海辺の彼女たち

第68回
サンセバスチャン国際映画祭
新人監督部門 出品

第33回
東京国際映画祭
ワールド・フォーカス部門 出品

第42回
カイロ国際映画祭
インターナショナル・パノラマ部門 出品

早稲田大学 X 梨の木ピースアカデミー
平和学研究所 NPA

映画上映&監督トーク

2020年制作映画

『海辺の彼女たち』を通して考える
ベトナム技能実習生と私たち

と き **19** 日(日)
2022年 1 月

映画上映 (上映時間: 88 分)

第 1 回 **10:00 ~**

第 2 回 **14:00 ~**

※映画はベトナム語および日本語。
トークイベントは日本語のみの進行
となります。

トーク (第 2 回上映終了後)

ゲスト

藤元明緒

本作映画監督

司会

堀 芳枝

早稲田大学社会科学総合学院教授、
平和学研究所所長

開催形式 **Zoom オンライン**

お申し込み方法

事前申し込み制。下記アドレス、
または右 QR コードよりお申し込みください。
<https://zoom.us/j/92147756547?pwd=eDBQSitWZDdnZEhNM24cWNTdkh2dz09>



お問い合わせ info@npa-asia.net

主催 早稲田大学総合研究機構 平和学研究所
共催 梨の木ピースアカデミー (NPA)

参加費
無料



海辺の彼女たち

外国人労働者たちの
実話をもとに描く
圧巻のリアリズム

ベトナムから来た3人の女性たち、アン、ニュー、フォン。彼女たちは日本で技能実習生として3か月間働いていたが、ある夜、過酷な職場からの脱走を図った。ブローカーを頼りに、辿り着いた場所は雪深い港町。不法就労という状況に怯えながらも、故郷にいる家族のため、幸せな未来のために懸命に働き始めたが……。

より良い生活を求めて来日したベトナム人女性たちを主人公に、きらめく未来を夢見ながら、過酷な現実と闘う姿を描く。

近年、外国人技能実習生にまつわる劣悪な労働環境などが社会問題として注目されているなか、本作は藤元監督が実際に技能実習生から受け取ったSOSメールをきっかけにして着想。当事者たちへの入念な取材をもとに脚本を執筆、臨場感あふれる役者の演技によるドキュメンタリーとフィクションを越境する物語を作り上げた。女性たちの覚悟と生き様が、他人事ではない物語として心に迫る。



海辺の彼女たちHP

<https://umikano.com>



監督プロフィール

藤元明緒（脚本／監督／編集）

1988年大阪府生まれ。大学で心理学・家族社会学を学んだ後、ビジュアルアーツ専門学校大阪・放送映画学科に入学。卒業制作である短編映画『サイケファミリア』が、ドバイ国際映画祭、なら国際映画祭などで上映。長編初監督作品となる、『僕の帰る場所』を日本ミャンマーを舞台に5年の月日をかけ完成させる。現在、制作拠点をミャンマー・ヤンゴンに移し、日本ミャンマー合作映画制作のマネジメントやテレビドキュメンタリー制作のディレクターに携わる等、国際的に活動している。

早稲田大学総合研究機構
平和学研究所

<https://www.waseda.jp/inst/cro/other/2021/11/03/7138/>



梨の木ピースアカデミー
(NPA)

<https://npa-asia.net/>



脚本・監督・編集：藤元明緒

出演：ホアン・フォン、フィン・トゥエ・アン、クイン・ニュー 他

撮影監督：岸建太郎／音響：弥栄裕樹／録音：keefar／フォーカス：小菅雄貴／助監督：制作：島田雄史／演出補：香月綾／DIT：田中健太／カラスト：星子駿光／アソシエイトプロデューサー：キタガワユウキ／プロデューサー：渡邊一孝、ジョシュ・レヴィ、ヌエン・ル・ハン／協賛：坂和総合法律事務所、株式会社ビヨンドスタンダード、長崎大学多文化社会学部／協力：外ヶ浜町、平館観光協会、日越ともいき支援会、日本ミャンマーメディア文化協会／後援：国際機関日本アセアンセンター／共同制作会社：ever rolling films／企画・製作・配給：株式会社 E.x.N／宣伝：高田理沙
(2020／日本＝ベトナム／88分／カラー／5.1ch／1：1.85／ベトナム語・日本語／ドラマ／DCP) ©2020 E.x.N K.K.／ever rolling films